

# 懐かしい渋谷の風景がデジタルツインでよみがえる！ 人気ゲーム「Fortnite」で「過去渋谷マップ」を公開します

地下化前の旧・東横線渋谷駅構内や東急文化会館の外観を再現  
ゲームで楽しく遊びながら1990年代の渋谷にタイムスリップ！

東急株式会社  
東急電鉄株式会社

東急株式会社(以下、東急)および東急電鉄株式会社(以下、東急電鉄)は、世界的人気ゲーム「Fortnite(フォートナイト)」上で2025年現在の渋谷の街を再現したオリジナルマップ「SHIBUYA TAG —渋谷鬼ごっこ—」(以下、現在渋谷マップ)の続編として、約30年前(1996~1997年頃)の渋谷駅東口周辺を再現したオリジナルマップ「SHIBUYA TAG back to the 90s —あの頃の渋谷で氷鬼—」(以下、過去渋谷マップ)を公開します。

過去渋谷マップは、4月27日(月)から29日(水・祝)にかけて東京ビッグサイトにて開催される「SusHi Tech Tokyo 2026」に東急が出展するブースでお披露目および先行体験を予定しています。

このたび公開する過去渋谷マップでは、「カマボコ屋根」の駅舎として親しまれた旧・東横線渋谷駅(2013年地下化)や、娯楽・文化の中心として親しまれた東急文化会館(2003年閉館)など、「100年に一度」の再開発が始まる前の渋谷駅東口周辺を再現しています。

特に、旧・東横線渋谷駅の構内は当時の意匠を可能な限り再現するとともに、当時の渋谷駅で駅係員として勤務した東急電鉄従業員により収録した「再現アナウンス」が流れるなど、往時の雰囲気を味わっていただけます。

過去渋谷マップでは、鬼にタッチされると動けなくなる「氷鬼」形式の鬼ごっこで遊んでいただけます。タッチされたプレイヤーは、旧型の携帯電話など1990年代を象徴するアイコンの石像に姿を変えます。

「100年に一度」と称される大規模再開発の進行とともに、かつての渋谷駅を知らない世代も増えていく中で、「まちの記憶」の継承を課題と捉えています。今回、かつて存在した風景をデジタルツイン上にアーカイブし、当時を知る世代には懐かしく、当時を知らない世代には新鮮な体験として提供します。「渋谷が歩んできた道のり」に楽しみながら触れていただく機会を作ることで、東急・東急電鉄が最重要拠点としてきた渋谷のまちづくりの取り組みを多くの方々々に認知いただくきっかけとなることを目指します。過去渋谷マップは、公開後も継続的なアップデートを行います。

製作は、現在渋谷マップに引き続き、「Fortnite」を活用したオリジナルゲーム開発やZ世代マーケティングなどを手掛けるスタートアップ企業の株式会社tenshabiと連携しています。

今後も東急および東急電鉄は、両社のリソースを活かしてスタートアップ企業との連携を深めながら、渋谷のまちづくりの情報発信を強化していきます。

詳細は別紙をご覧ください。

※本プロジェクトは、Epic Gamesによりスポンサー、支援、または運営をされるものではありません。

※SusHi Tech Tokyo 2026への出展の詳細については別途お知らせします。



※左は過去渋谷マップの画面(製作中)、右は実物の写真(撮影年未詳:2001年前後)

以上

## ■過去渋谷マップの主な見どころ

### (1)旧・東横線渋谷駅

輸送力増強に伴う駅改良工事が1964年に竣工した旧・東横線渋谷駅は2013年の地下化まで使用されました。アーチ型の屋根が連なる外観は「カマボコ屋根」の愛称で親しまれていました。

過去渋谷マップでは、東急電鉄に残されていた竣工時の図面をもとに駅構内やホームを製作し、券売機、運賃表、自動改札機、電光掲示板、停車駅案内、車両、店舗などは1996～1997年頃の様子を可能な限り再現しました。

ホーム上のアナウンスは、当時の渋谷駅で駅係員として勤務していた東急電鉄の従業員により収録・再現し、現在とは異なる「桜木町」ゆきのアナウンス(東横線桜木町駅は横浜高速鉄道みなとみらい線の開業に伴い2004年廃止)をお楽しみいただけます。



※それぞれ左は過去渋谷マップの画面(製作中)、右は実物の写真(2000年撮影)

### (2)東急文化会館と跨道橋

1956年に開業した東急文化会館は、大小4館の映画館やプラネタリウムなどが入居し、再開発に伴う2003年の閉館まで渋谷駅東口のアイコンとして親しまれていました。跡地には渋谷ヒカリエが2012年に開業しました。

過去渋谷マップでは、プラネタリウムの球体を戴くシンボリックな外観や、渋谷駅東西の往来を改善する目的で東急百貨店東横店東館(2013年閉館)との間に建設された跨道橋の内部を再現しました。

※東急文化会館や東急百貨店東横店東館の内部に入ることはできません。



※それぞれ左は過去渋谷マップの画面(製作中)、右は実物の写真(上段は1991年、下段は1998年撮影)

## 【参考】

### ■「過去渋谷マップ」の公開について

「過去渋谷マップ」は、「Fortnite」上で以下のマップコードを入力することでどなたでも無料で楽しみいただけます。

マップコード: 3538-4306-3845

マップリンク: <https://www.fortnite.com/@tenshabi/3538-4306-3845>

※記載のマップコードおよびリンクは2026年4月27日(月)9:00からご利用いただけます。

### ■2025年公開:「SHIBUYA TAG —渋谷鬼ごっこ—」について

東急は、「Fortnite」上に現在の渋谷の街を再現したオリジナルマップ「SHIBUYA TAG —渋谷鬼ごっこ—」を製作し、2025年5月に開催されたアジア最大級のスタートアップカンファレンス「SusHi Tech Tokyo 2025」で初披露しました。今後もリアルとバーチャルを横断したさまざまな取り組みを展開予定です。

マップコード: 1727-0933-8074

マップリンク: <https://www.fortnite.com/@tenshabi/1727-0933-8074>

2026年2月には、渋谷のまちづくりや未来像をより身近に考えていただく取組の一つとして、「SHIBUYA TAG —渋谷鬼ごっこ—」の活用アイデアコンテスト『FORTNITE SHIBUYAで、なにをして遊ぶ?』を開催しました。

イベントHP: <https://fortniteshibuya.com/>

### ■事業共創先スタートアップ企業の概要

会 社 名: 株式会社tenshabi

設 立 年: 2021年11月

代 表 者: 代表取締役 溝口 新平

所 在 地: 千葉県松戸市本町19番地20

事 業 内 容: 「Fortnite」を活用したオリジナルゲーム開発および若年層向けマーケティング支援

ホームページ: <https://tenshabi.com/>

### ■SusHi Tech Tokyo 2026 概要

イベントHP: <https://sushitech-startup.metro.tokyo.lg.jp/>

日 時: 2026年4月27日(月)、28日(火) 9:00~18:30

2026年4月29日(水・祝) 10:00~18:00(9:30受付開始)

※27日(月)および28日(火)はビジネスデイ(企業向け)、29日(水・祝)はパブリックデイ(一般向け)

会 場: 東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)

主 催: SusHi Tech Tokyo 2026 実行委員会

以 上